

WECC2015 Newsletter No.8

2015年11月20日



WECC2015
京都本部本部長
谷口 栄一

(京都大学大学院工学研究科 教授)

WECC2015が「イノベーションと社会」を主なテーマとして日本の京都で開催される。この会議の意義は三つあり、第一に工学のあらゆる分野の技術者、行政官、企業経営者が一堂に会して幅広く知識・経験を交換し議論を行うこと、第二に工学の発展について社会との連携の中で考え、提言を行うこと、さらに第三に、古都京都で開催され、歴史と文化を踏まえて工学の新しい方向性を発信できることである。

一点目の工学のあらゆる分野の人々が一堂に会する機会は非常に少なく、通常は細分化された専門分野の国際会議において専門的な問題について議論が行われることが多い。しかし現在我々が直面している問題は、たとえば都市の安心安全に関する問題、高齢社会の健康増進の問題、エネルギーの効率的利用の問題、サイバー空間のセキュリティの問題など非常に複雑な問題であり、複数の分野の人々が知恵を出し合って解決策を見つける必要がある。そのためには各専門分野の人々が専門の枠を超えてコミュニケーションを行うことが重要であり、WECC2015はそのような機会を作るきっかけを与えてくれる。異なる専門分野の人々が一つの課題について、異なる見方やアプローチの方法を示すことは非常に重要なことであり、今まで全く考えたことがないようなアプローチの方法に触発されて、新たなイノベーションが生ま

れる可能性がある。

二点目の工学と社会の関係について、工学は社会に役に立つものでなければならいと同時に工学は社会の中におけるその位置を正に評価されなければならない。工学は純粹の科学と同じ数式を用い、同じ原理を適用するが、最終的に社会の発展に役に立つために構造物や機械を設計し、それらを作り、サービスを提供することが求められている。そのような工学の使命について、社会から不当に低く評価されることもあり、また過剰に期待されることもある。このような状況の中にあつて、WECC2015においては工学の内部における倫理の問題、教育の問題について議論を行って工学の技術者としてどの方向に進めばいいかを示すとともに社会の側における評価や期待についても議論を行い、社会との連携を進める方法を考えるよい機会を提供してくれる。

三点目に、WECC2015が歴史と文化のまち京都で開催されることは意義深いことであり、工学は無機的な学問分野と思われがちであるが、実は人間の歴史と伝統文化を踏まえて初めて成り立つものであることを思い起こさせてくれる。京都は職人のまちであり、伝統文化や伝統的な生活を守りながら新しいイノベーションを起こしてきた歴史を有している。工学の発展・応用において、経済のみならずその土地の歴史と伝統文化との調和を考慮することが大切であることを京都のまちは我々に教えてくれる。以上のように WECC2015 は工学のあらゆる分野に関係する人々がこれから様々な課題にチャレンジするための貴重なネットワークを構築するよい機会を与えてくれるものと確信している。

WECC2015 京都市民向けご招待イベント 申込み受付中！

京都市民向けの無料ご招待イベントには是非ご参加ください。

申込みページはこちら：<http://www.wecc2015.info/jp/events/kyoto/index.html>

京都プログラム

日時：2015年11月29日（日） 13:30-16:30

会場：京都商工会議所 講堂

住所：〒604-0862 京都市中京区烏丸通夷川上る

ご講演：

「和食の維持継承について」

村田 吉弘 氏（菊乃井 主人）

「近代京都の都市計画と鉄道網の整備 ～観光都市京都を支える交通基盤～」

岡本 光司 氏

（京福電気鉄道株式会社 代表取締役社長）

「まちづくりは人づくりから 京都市の教育改革」 門川 大作 氏（京都市長）

特別基調講演 Part 7

日時：2015年12月1日（火） 9:00 - 9:50

会場：国立京都国際会館 大会議場

ご講演：

「Wide-bandgap semiconductors as tools for realizing a sustainable society」

天野 浩 氏

名古屋大学未来材料・システム研究所 未来エレクトロニクス集積研究センター センター長・教授
2014年ノーベル物理学賞受賞

WECC2015 エンジニアリング・カフェ【協賛 同志社大学】

日時：2015年11月30日（月） 14:00 - 17:00

場所：同志社大学 今出川キャンパス 良心館 2F ラーニングコート内 プレゼンテーションコート

テーマ：「工学と文化」

モデレーター：荒川 薫 氏（明治大学 総合数理学部）

「工学は文化創造学である」 原島 博 氏（東京大学名誉教授、明治大学客員教授）

「日本近世美術史と京都」 狩野 博幸 氏（同志社大学文化情報学部）

「工学と芸術の融合」 村上 隆 氏（京都美術工芸大学）

（※ディスカッション&フリートーク 16:15 - 16:45）